

祖生 集落支援 だより



祖生ふるさとまつり

12月、祖生ふるさとまつりが4年ぶりに開催されました。私にとって初めての祭りでしたが、想像以上に様々な催しがあり楽しかったです。祭りを通じて私が思ったのは、多くのボランティアの方々の協力があってこそ祭りが成り立っているということです。会場の設営やグラウンドの準備などは、祭りの一週間前から連日のように行われました。印象的だったのは、ボランティアの方々が、公民館長の作業指示に先立って、率先して仕事をしていただいたことです。皆さん毎年やっていたことですから体に染みついているのですね。

当日私は写真係も担当いたしましたので、駅伝、つなひき、お御輿など子供達の生き生きとした写真を数多く撮影しております。データを無料でお譲りいたしますので、お気軽にお声がけください。



刈った草を片付けている地域おこし協力隊の山田隊員

しんぐらふれあい会

10月29日、新宮自治会を中心に約20名の方々が、和樂の里周辺を訪ねて来てくださいました。私も案内係として会に参加させていただきました。最初に和樂の里にて輪投げゲームを行い、それから800mほど山道を歩いて、私が育てているわさびの畑に向かいました。輪投げの優勝者には商品が贈られたのですが、そこに私もわさびを一株付け加えさせていただきました。その後、牛転びの滝に立ち寄りました。滝への道のりは結構な高低差があるのですが、見回すと息を切らしているのは私くらいで、皆さんとても元気なことにびっくりしました。この会に備え、事前に道の草刈りや滝周辺の整備を行いました。地域おこし協力隊の山田隊員にも手伝ってもらいました。また、こうやって地域の方々が企画されて、そこに集落支援員として関わることができたのは大変嬉しいことです。参加された皆様ありがとうございました。



わさびの話をしている私

